



地域とともにある学校づくり

ー コミュニティ・スクールであることを生かして ー

副校長 水野 睦子

コミュニティ・スクールとは、地域住民や保護者等で構成する「学校運営協議会」を設置する学校をいいます。令和3年4月1日現在、東京都のコミュニティ・スクールの設置校は651校、全学校数（小・中・義務教育学校）に占める割合は約35%で、日野市では平山小学校と東光寺小学校の2校がコミュニティ・スクールとなっています。

10月中旬、生活科「秋をさがそう」の学習で、2年生と一緒に歩いて仲田の森蚕糸公園に行ってきた。行く途中、子供たちが日頃からお世話になっているさかえまち児童館の職員の皆さんが玄関まで出てきて、「行ってらっしゃい」「気を付けてね」と子供たちに声を掛けてくださいました。他にも、梨園見学（奥住 方彦様）、東光寺大根の種蒔きと収穫・たくあん作り（福島 幹男様）、タマネギの種蒔きと収穫（和田 菊代様）、稲作（日野用水土地改良区代表 福島 久夫様）に関しては、種から苗を育て、稲刈り・脱穀・収穫までお世話になっています。このようなことを通して地域の方々と触れ合い、様々な経験をすることで、子供たちの社会性が育まれ、また健全な育成につながっていると感じます。地域の方々と一緒に活動をしている様子を見ては、「人は人を浴びて人になる」という言葉が思い出され、感謝の気持ちでいっぱいになります。

今の小学生が大人になり、社会に出る頃にはグローバル化・情報化が進み、変化が激しく予測困難な未来が待ち受けています。今後、社会で求められる能力は『答えのない課題』に最善解を導くことができる力であり、分野横断的な幅広い知識や俯瞰できる力をもって前に進んでいくといったことが、より一層求められることになるでしょう。しかし、それらを支える力はコミュニケーション能力です。人と人との関わりが土台になるということは、これから先もずっと変わることはないでしょう。

東光寺小学校の地域の力は、日野市内でも有名です。総合防災訓練の打ち合わせのときも、日野市役所防災課の職員の方から「東光寺地域は、地域の方々がとても熱心ですよ。」とお褒めの言葉をいただきました。これからもコミュニティ・スクールであることを生かし、地域、保護者の皆様と一緒に子供たちのために様々なことに取り組んでいきたいと思っています。

今後ともご支援ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

》》》 各部からの活動報告 《《《

【安全・安心部】

放課後のパトロール活動や花壇の手入れを防犯活動として実施している私どもが、この8月に2回目の自主防犯組織育成事業交付金の申請ができることになりました。

前回は8年前。正門横のフェンスに横断幕を制作、設置しました。今回も何か役に立てることはないかと、学校、平柳駐在さんに相談させていただきました。

その結果、7月の通学路合同点検（日野市、日野警察署、学校、PTA校外委員会）で指摘された改善箇所の対応にこの交付金を充当し、スクールゾーン等の周知に必要な物品を申請することしました。

登校時にスクールゾーンとなる正門前の道につながる市道等へ置くコーンカバー、危険箇所やスクールゾーンを明示するため、ガードレールに取り付けるミニ横断幕、LED合図灯等、10月に日野市より決定通知をいただき、朝の混雑時の抜け道として通行する車両からも一目で分かるようなデザインを発注、制作することができました。今後、取り付けについて打ち合わせを進めていきます。合図灯は、災害時に本校で避難所が開設された時にスムーズに誘導する手段として活用したいと思っています。

〔裏面へ〕



進入禁止等を示すコーンカバー



LED合図灯を持つ見守り隊の皆様

緊急事態宣言が解除され、各パトロール隊の活動も以前のように戻りつつあります。第6波への不安が過ぎりながらも、子供たちと笑顔で交わす挨拶が、本当に私たちの力になります。新型コロナウイルス感染症予防対策を心掛け、「ボランティアができるなんて、本当に幸せなことじゃないの!!」という声が聞こえてきます。

(三好 啓子)

【 学習部 】

今年も昨年と同様、新型コロナウイルス感染症の影響により、子供たちは収穫期（9月中旬）のみ、1回の梨園見学となりました。例年ですと、花が咲いている時期の花粉付け。実が付いて、その後、適正な数にする摘果。だんだんと実が大きくなり、病気や虫から梨の実を守る袋掛けと、1年を通して成長の段階を見学していました。

季節による植物の変化や梨作りの様子を分かってもらえたらと思います。

(奥住 方彦)



袋掛けの説明を聞く子供たち

【 環境部 】

今年度の芝管理作業は、昨年と同じくコロナ禍の影響により、日程や作業内容、規模の変更が多々ありました。そういった状況の中、学級ボランティア管理委員会をはじめ、保護者、地域の皆様や自主管理団体の方、教職員の方々等、多くのサポートをいただき、誠にありがとうございました。

その中で特に印象に残っているのは児童と共に参加いただいた親子で、その微笑ましい作業姿は、私たちに元気をいっぱい与えてくれました。(写真左上)

今年はコース整備や雑草抜き等、大変な作業でしたが、皆様にお力添えいただいたおかげで、手の行き届いた立派な芝生の校庭で、運動会当日を無事迎えることができ、大成功に行われたことが記憶に新しく、サポートをいただいた皆様に改めて感謝を申し上げます。

また、運動会後に行われたオーバーシードに、急な募集にもかかわらず、ご協力をいただいたボランティアの皆様、大変ありがとうございました。

校庭芝生の管理には様々な課題がありますが、子供たちが笑顔で学び、遊べる、よりよい環境作りのためにコツコツと取り組んでいきますので、これからも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

(速水 亨)



芝生の中の雑草とり作業



オーバーシード：種まき、肥料まき後の砂かけ



コース整備：コース上に伸びた芝を剥ぎ取る作業